

# 【議会事務局】行政経営計画書（総括表）

## ■事務事業の総括

No.	事務事業名
1	議会運営事業
2	議会広聴広報事業

# 令和4年度 事業別行政経営計画書

所属名	議会事務局	No.	1
事業名	議会運営事業		

## ■基礎情報

目的	議会の円滑な運営を図るため事務の効率化を目指す。
事務内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・本会議、委員会、協議会の会議運営補助</li><li>・会議録の作成</li><li>・議員視察の対応</li><li>・政務活動費の支出管理</li></ul>
現在における経過又は課題	<p>会議運営と事務の効率化を目的に、平成30年12月定例会よりタブレットを利用したペーパーレス会議システムを導入したが、タブレットの操作習熟度に個人差があるため、一定の水準まで引き上げられるかが課題である。このため、議員の要望等に応じて事務局職員等による講習会を実施している。</p> <p>令和2年1月臨時会、及び9月定例会の本会議でマイクの音声スピーカーから流れないトラブルが発生した。議場の音響設備はマイク等一部設備の更新を過去に行っているものの、制御装置や配線等は庁舎建設時からのものを使用している。今後も機器のトラブルが懸念されるため、全体的な更新を考えなければならない時期になっている。</p> <p>また、第1委員会室の音響設備についても委員会中にマイクのトラブルが発生し、2本が使用不能となった。原因は、過去の設備更新から20年近く経過していることから電子部品の劣化によるものと考えられる。</p> <p>今後、その他のマイクにも同様の症状が発生することが懸念されるため、令和2年度12月定例会に補正予算を計上し、令和3年2月に更新が完了した。なお、従前のマイク設備一式は使用可能なものを第5委員会室にて利用できるようにした。</p> <p>議員の活動が見えないという声もあり、議会活動をより多くの方に知ってもらう手段として、平成26年9月定例会から一般質問の動画配信を始めた。また、令和2年3月定例会より新型コロナウイルス感染対策の一環で傍聴自粛を求めたため、一時的に本会議の全てをライブ中継している。</p> <p>平成29年度に会議録検索システムを導入し、平成24年3月の定例会分から、定例会、臨時会、委員会の議事録をホームページ（外部サイト）から閲覧できるようにした。</p> <p>これに伴い、会議録の製本を必要最低限の冊数（正本2冊＋副本5冊）とし、議員等への配布を取りやめた。</p>
令和4年度の目標又は改善策	<p>引き続きスムーズな議会運営が行えるよう議員のサポート等に努める。</p> <p>議場の音響設備の故障が目立ち始めているため、会議運営や会議録作成に支障をきたさないよう、更新について検討していく。</p> <p>議会の活動が見えないという住民の声に応えるため、その手段を模索していくとともに、議員と住民が直接触れ合える機会を議員と一緒に考えていきたい。</p>

## ■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第6章	持続可能な地域経営				
	基本政策	第2節	行財政経営				
成果 指標							
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 目標値	R4 目標値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値

## ■ 3年間の目標

目標	議場の音環境の快適化					
	項目(単位)	R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標
	議場音響設備			検討	予算要求	更新

## ■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R5 年度	議員改選の年になるため、1期目の議員に対する様々な勉強会や研修会、さらには議員一人ひとりの知識向上のための研修の実施。
R6 年度	議員一人ひとりの知識向上のための研修の実施。

## ■ 作業工程 (当該年度)

月	作業内容
5	臨時会
6	定例会
9	定例会
12	定例会
3	定例会・臨時会(予定)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、総務建設・文教福祉常任委員会協議会及び全員協議会を開催</li> <li>・議会運営委員会を定例会及び臨時会開催前に開催</li> <li>・常任委員会視察を7月から11月の間に実施</li> <li>・10月から11月頃に議会報告会・意見交換会を実施</li> </ul>

## ■目標又は改善策に対する取組内容

- ・議長・副議長、委員長とシナリオ等の丁寧な打ち合わせをすることで、円滑な議会運営ができるよう努めた。
- ・議場の音響設備の老朽化については、他町村議会の状況や、提供会社をはじめとする音響設備会社の資料を閲覧するなどして、最新音響設備の情報収集をした。議場の集音レベルが低いマイクは、前年から引き続き、会議の都度、接点復活材を塗布することで状況の改善を図った。
- ・議会の活動が見えないという住民の声に応えるため、議会を応援する「議会サポーター」を検討していくこととなった。また、議員と住民が直接触れ合える機会を議員と検討した結果、11月にコロナ禍により中止していた「意見交換会」を、実施方法を変えて3年ぶりに実施することができた。

## ■評価

- ・色々と想定される事案（議長選挙で複数の立候補者があった場合に備え、会期日程を4日間にしたこと、賛否が分かれるものについては、それぞれの結果を想定したシナリオを作ったことなど）について、事前に対策をしたことに加え、議長、委員長と丁寧な打ち合わせをしたことにより、会議中に「暫時休憩」で進行を止めることなく、円滑な議会運営ができた。
- ・議場の音声収録については、機器の原因による録音不良がなく対応できた。設備が古く議場の集音レベルの低いマイクも複数本あるので、引き続き接点復活材を塗布することで処置を行っていく必要がある。設備全体の老朽化も進んでいるため、引き続き更新計画の検討が必要である。
- ・議会活動の見える化については、具体的な進展はなく検討・協議であった。新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなったことで、議員と住民が直接触れ合える機会が作りやすくなってきたことから、「身近な議会」を感じていただけるような対話型のコミュニケーションの場が必要と思われる。

# 令和4年度 事業別行政経営計画書

所属名	議会事務局	No.	2
事業名	議会広聴広報事業		

## ■基礎情報

目的	町政に係る重要な情報を議会独自の視点で住民に周知し、多様な広報手段で、より多くの住民が議会と町政に関心を持つように努めることを目的とする。
事務内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・議会広報誌「おおぐち議会だより」の編集及び発行</li><li>・議会広報に関する視察対応</li><li>・議会報告会、意見交換会</li></ul>
現在における経過又は課題	<p>「おおぐち議会だより」は、議会広報誌として年4回発行している。限られた紙面で、定例会や委員会等で審議した経過について、より住民に「読んでもらえる」「分かりやすい」紙面づくりが求められている。</p> <p>議会広聴広報常任委員会では、全国町村議会広報コンクールにて優秀な成績を収めた町村議会への視察のほか、雑誌編集等の専門家が講師を務めるクリニックにおいて指導を受け、より多くの住民に手に取って読んでもらえる広報誌づくりを目指している。現在、他自治体議会の取組み等を参考にしながら、委員と事務局の作業分担、紙面構成の見直し等の検討・実施を進めている。</p> <p>他自治体議会では、定例会の結果を報告するだけでなく、議員が住民を取材し、その声を掲載するなど、議会広報を通して議会と住民の距離を近づけるような工夫をしている事例がある。議会広聴広報常任委員会で検討し、できるところから取り入れていく必要がある。</p> <p>議会改革特別委員会にて議会報告会、意見交換会をはじめとする広聴活動を令和3年度より議会広報常任委員会で所管する事項に加える検討がされ、名称を議会広聴広報常任委員会に変更したが、令和3年度はコロナ禍ということもあり開催しなかった。</p>
令和4年度の目標又は改善策	<p>「おおぐち議会だより」を通じて住民が議会に関心を持ってもらえるよう、「住民に読んでもらえる、分かりやすい紙面づくり」を議会広聴広報常任委員会委員とともに目指す。また、引き続き、他自治体議会の視察や全国町村議会議長会等の研修を受講することで、議会の内容を分かりやすく伝える技術や編集技術を習得し、その成果を紙面づくりに生かす。</p> <p>広聴活動については、コロナ禍の情勢を踏まえた対応を取ることで意見交換会・議会報告会の開催を検討する。</p>

## ■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第6章	持続可能な地域経営				
	基本政策	第3節	情報発信・共有				
成果指標							
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 目標値	R4 目標値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値

## ■ 3年間の目標

目標	議会だよりの満足度の向上					
項目(単位)	R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	

## ■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R5 年度	広報に関する研修の受講や他議会の広報誌の検証
R6 年度	広報に関する研修の受講や他議会の広報誌の検証

## ■ 作業工程 (当該年度)

月	作業内容
5月	意見交換会・議会報告会開催の方向性について検討(委員長会議など)
8月	広報研修会に参加(愛知県町村議会議長会主催)
10月 ～ 11月	意見交換会・議会報告会の開催

## ■ 目標又は改善策に対する取組内容

- ・「住民に読んでもらえる、わかりやすい誌面づくり」について、愛知県町村議会議長会主催の「議会広報クリニック」を議会広聴広報常任委員会委員と一緒に受講し、議会の内容を分かりやすく伝える編集技法を学び、それを誌面に生かして議会だよりを製作した。
- ・広聴活動については、新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなってきたことから、3年ぶりに実施方法を変え、意見交換会を実施した。11月8日は社会福祉協議会の職員と「大口町の介護事業」「デイサービス事業」「地域福祉事業」「ふれあいサロン事業」について実施。11月9日は、まちなつと大口の職員と「多文化共生」「生活支援」「シティプロモーション」「子ども会」「文化協会」「人の集まる空間づくり」について意見交換をした。11月25日は、町民会館で商工会青年部の役員・事務局員と「桜の季節にお祭りを」「道路整備を」「公園を増やして」「中学生の素行の悪さを見聞きするが」「中学生の制服改正は」といったテーマで実施した。意見交換会で得た意見を整理し、総務建設常任委員会から「コロナで苦しむ中小企業等への手厚い支援の継続」「飲食関係の複合商業施設の誘致」「地域における繋がり希薄化対策」、文教福祉常任委員会から「デイサービスの環境整備」「ふれあいサロン事業による高齢者の健康維持」を選び、議会から町長に通知した。

## ■ 評価

- ・「おおぐち議会だより」については、例年、愛知県町村議会議長会主催の「議会広報クリニック」で、議会の内容を分かりやすく伝える編集技法を学び、それを誌面に生かして議会だよりを製作しているが、停滞感がある。議員改選もあることから、新しい視点で、誌面をはじめ、編集方法等の見直しも必要な時期にきている。
- ・広聴活動は、コロナの影響がさらに少なくなることを見据え、住民と議会の「距離」を縮めるような「直接対話型の行事や活動」を思考していかなければならない。
- ・町制60周年記念事業ではあるが、議会広聴広報の意味もある「おおぐち町民一日議会」を令和5年2月26日に開催したことは評価に値する。